2026年10月 第01号

NEWS LETTER

新潟大学ダイバーシティ推進センター

ニューズレター開始しました！

皆さん、こんにちは！新潟大学ダイバーシティ推進センターです。本センターの前身である、男女共同参画推進室の時代にニューズレターを発行していました。
社会の流れや組織改変により発行を停止しておりましたが、2026年10月から年４回の予定でニューズレターを再開いたします。
様々な情報や活動報告などをお知らせするとともに、より実効性の高い施策に努め、包括的なダイバーシティ環境の構築に向け邁進していきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。



DEI 通信

Diversity, Equity & Inclusion Newsletter

多様性を、大学の力に



染矢俊幸学長

大学には、異なる専門、経験、文化、価値観をもつ人々が集まっています。その違いを互いに認め、一人ひとりが持てる力を十分に発揮できることは、誰もが過ごしやすい大学をつくるだけでなく、新しい問いや発想を生み出す力にもなります。
ダイバーシティは、特別な誰かのための取組ではありません。まず一人ひとりが、目の前の人の声に耳を傾け、その違いを受け入れること。その小さな積み重ねが、やがて大学全体を変えていくのだと思います。
このニューズレターが、その輪を広げるきっかけになることを願っています。

多様性が拓く、新潟大学の未来

令和８年２月より、新潟大学ダイバーシティ推進センター長を拝命いたしました住吉智子でございます。改めまして、皆様にご挨拶申し上げます。
大学には、多様性を尊重し、公平性を大切にしながら、すべての構成員がそれぞれの力を発揮できる環境を築く使命があります。一人ひとりが本学に誇りと帰属意識を持ち、学び、研究し、働くことのできる場であることも重要です。また、多様な背景や価値観を持つ人々が互いに学び合うことは、新たな知の創造や社会課題の解決につながります。本学では、こうした考えのもと、DEI（Diversity, Equity & Inclusion）の理念を重視し、取組を進めています。
本センターは、「開花プラン」をはじめ、各部局の主体的な取組や新たな挑戦、若手あるいは多様な背景をもつ研究者の活躍を力強く支援していきます。今後は様々な部局に出向き、実際の声を聴いて、支援につなげていくことも検討しています。皆さんと共に新潟大学の未来を築いていきたいと思います。



住吉智子
ダイバーシティ推進センター長
理事・副学長

「新潟大学キャンパスまるごとミュージアム NEXUS」に出展します

このたび、「新潟大学キャンパスまるごとミュージアム NEXUS」に出展し、資料展示を通じて、センターの取り組みや活動を大学関係者や一般市民に紹介するとともに、性別や身体、文化などさまざまな違いへの理解を深めることを目指します。また、来場者の声も集めつつ、人々をつなぎ、共に行動する力として「誰もが学びやすく働きやすいキャンパス・生活しやすい社会」の未来を共に描く機会とします。

主な展示内容は次のとおりです。
＜ダイバーシティ推進の軌跡をたどる＞ アーカイブ資料を通してセンターの歴史を振り返る
＜多様性の扉を開く＞「多様性」に関する図書の展示・閲覧
＜多様な声でつなごう＞ 来場者が「多様性を描く」コーナー

会場と展示について
SCAN ME



〈編集・発行〉〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地 新潟大学経営戦略本部ダイバーシティ推進センター ✉ diversity@cc.niigata-u.ac.jp

ダイバーシティ推進センターの取り組み ・ お知らせ

「ジェンダーダイバーシティ部局自律化・地域共創プロジェクト」採択取組が決定！

本学では、各部局の特色や課題に応じた「オーダーメイド型」のジェンダーダイバーシティ推進を支援しています。今年度も意欲的な企画が数多く寄せられ、採択部局・取組が決定しました。部局から始まる変化が、大学全体、そして地域へと広がっていくことを期待しています。
採択された取組は、Web サイトで紹介しています。

CLICK

外部資金に挑戦しました！

「研究者多様性サポートプロジェクト」に申請しました。このプロジェクトは、大学における研究者の多様性確保を目指し、女性研究リーダーの育成に加え、女性研究者をはじめとする多様な研究者のキャリア継続を包括的に支援します。
本学は、この挑戦を通して、多様な研究者が活躍し続けられる研究環境づくりを、さらに加速します。

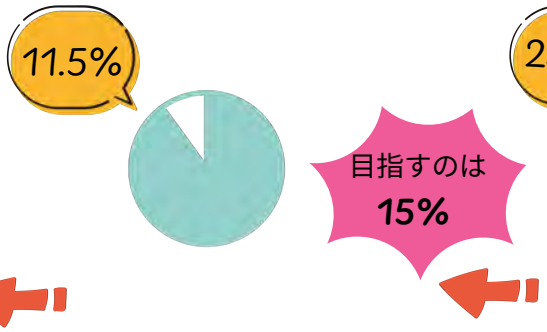
現在の大学の情報

本学は国立大学法人一般事業主行動計画（女性活躍推進法）として、令和 12 年 3 月 31 日までの目標値を掲げています。

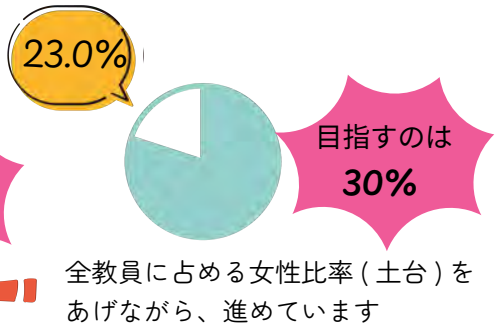
学長、理事、副学長、教育研究評議会評議員に占める女性比率 (R8.2.1 時点)



教授に占める女性比率 (R7.5.1 時点)



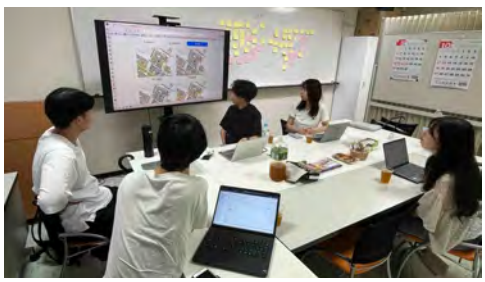
全教員に占める女性比率 (R7.5.1 時点)



全教員に占める女性比率（土台）をあげながら、進めています

グローバルキャンパスの実現に向けた取り組み

Campus Accessibility Student Team（CAST）は、学生の視点からキャンパスのアクセシビリティ向上に取り組むチームです。ダイバーシティ推進センターと連携しながら、誰もが利用しやすいキャンパスづくりを進めています。この数か月間、CAST メンバー（CASTers）は施設管理課と協働し、CAST オリジナルのデザインを取り入れながら、キャンパスのユニバーサルデザインマップを新たに制作してきました。五十嵐キャンパス版のマップを、近日公開予定です。



CASTers が色覚シミュレーターを使って、ピクトグラムの配色をテストしている。

研究の評価が変わる！ ― 世界的な「転換点」と日本、そして本学の挑戦 ―

世界は今、論文数偏重から多様な成果を認める「責任ある研究評価（RRA）」への大きな転換点（メタモーメント）を迎えています。日本も DORA が主導する、21 カ国規模の国際調査に初期から参加し歩調を合わせつつ、産官学の共創で「研究力を育む土壌」の形成とウェルビーイング向上に取り組んでいます。この調査結果は 2027 年初頭の公表が予定されています。
本学でも、数値のみに頼らず、「チームサイエンス」や「見えざる労働」などの「多様な貢献」が評価される、研究者が健やかに挑戦できる未来を目指します。

注 :DORA（研究評価に関するサンフランシスコ宣言）とは、論文数や雑誌の指標だけに頼らず、研究の質や社会的貢献など、多様な研究成果を公正に評価することを目指す国際的な宣言です。

今後の予定

令和 8 年度　開花プラン

まもなく募集を行います！応募する方がいる部局の方も合わせてご準備ください。

追加募集　「ジェンダーダイバーシティ部局自律化・地域共創プロジェクト」

追加募集を行います。ぜひ、意欲的な取組でご応募ください。

〈編集・発行〉〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地　新潟大学経営戦略本部ダイバーシティ推進センター　✉diversity@cc.niigata-u.ac.jp